

バーコード自動挿入 チュートリアル

バーコード自動挿入_チュートリアル.zip



バーコード自動挿入 - 概要

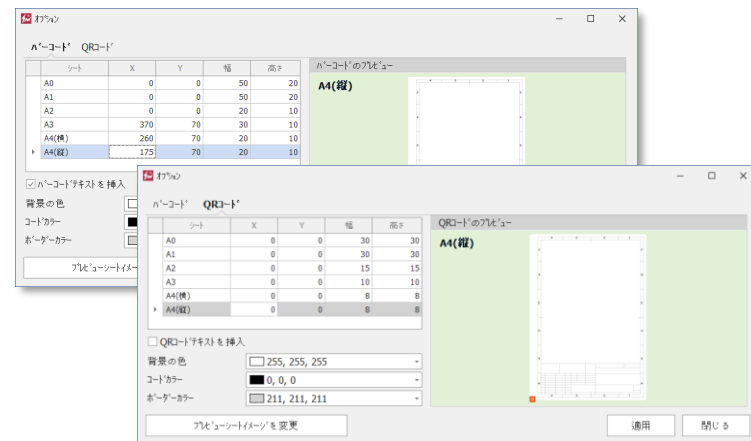
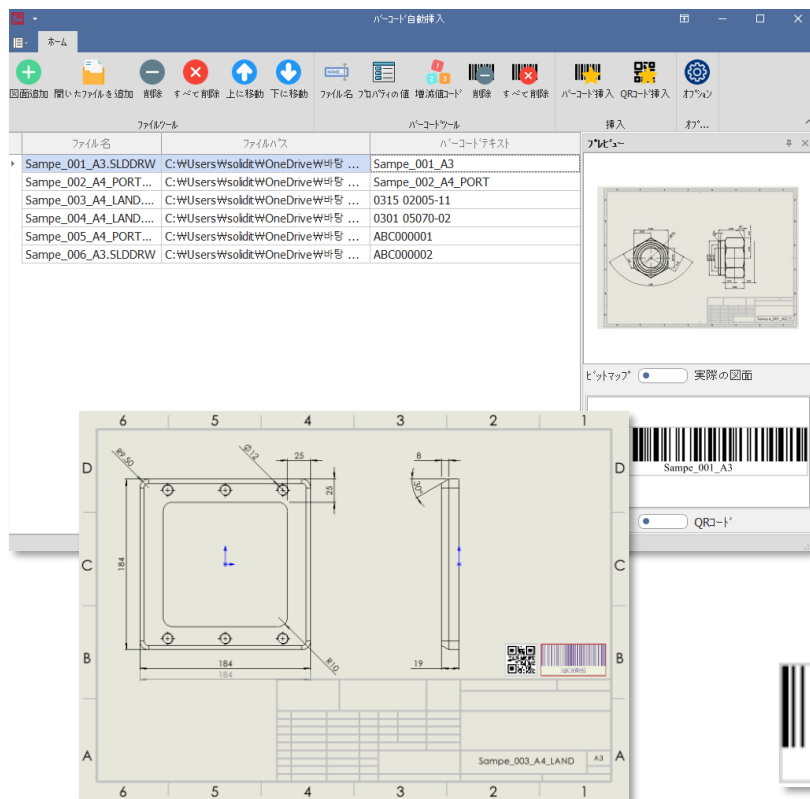
主な機能

- 多量の図面に一括でバーコード/QRコードを挿入
- ファイル名、プロパティ情報基盤のバーコード/QRコード自動作成および挿入
- シート別バーコード/QRコード挿入位置およびサイズ指定の機能提供

業務効果

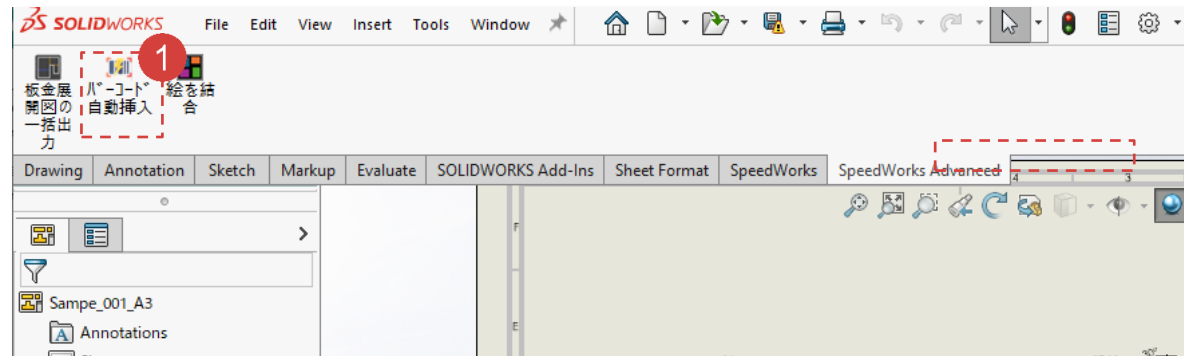
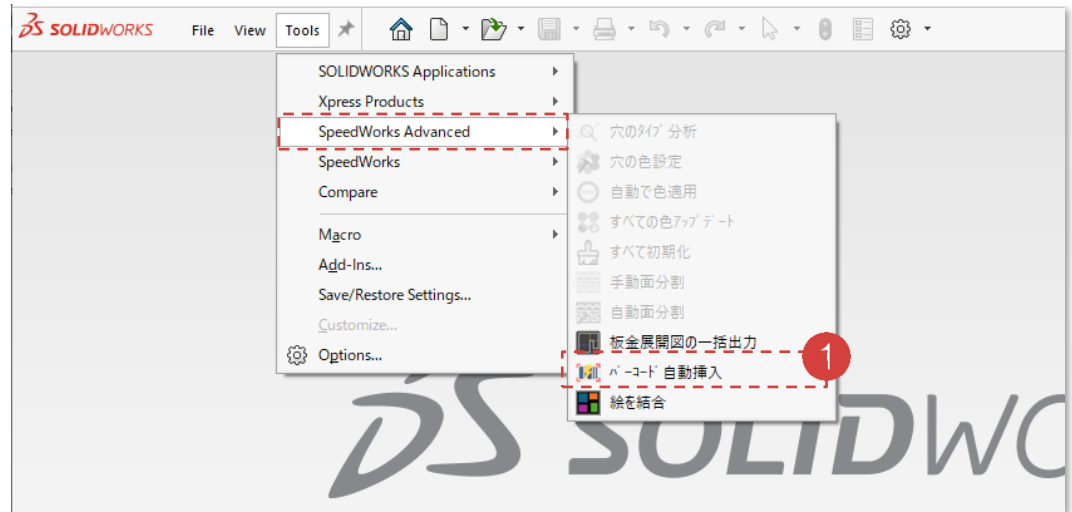
- 自動バーコード作成および挿入で、設計者の不必要な作業時間が減少
- 図面にバーコードを挿入し、製造現場で簡単に情報確認可能
- バーコード情報で設計と製造の円滑なコミュニケーションが可能

🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながらバーコード自動挿入の使用法を学ぶ



① SOLIDWORKS 実行 - [ツール] タブ - [SpeedWorks Advanced] - [バーコード自動挿入]を実行します。

または部品/アセンブリ/図面ファイルから[SpeedWorks Advanced]タブ - [バーコード自動挿入]を実行します。



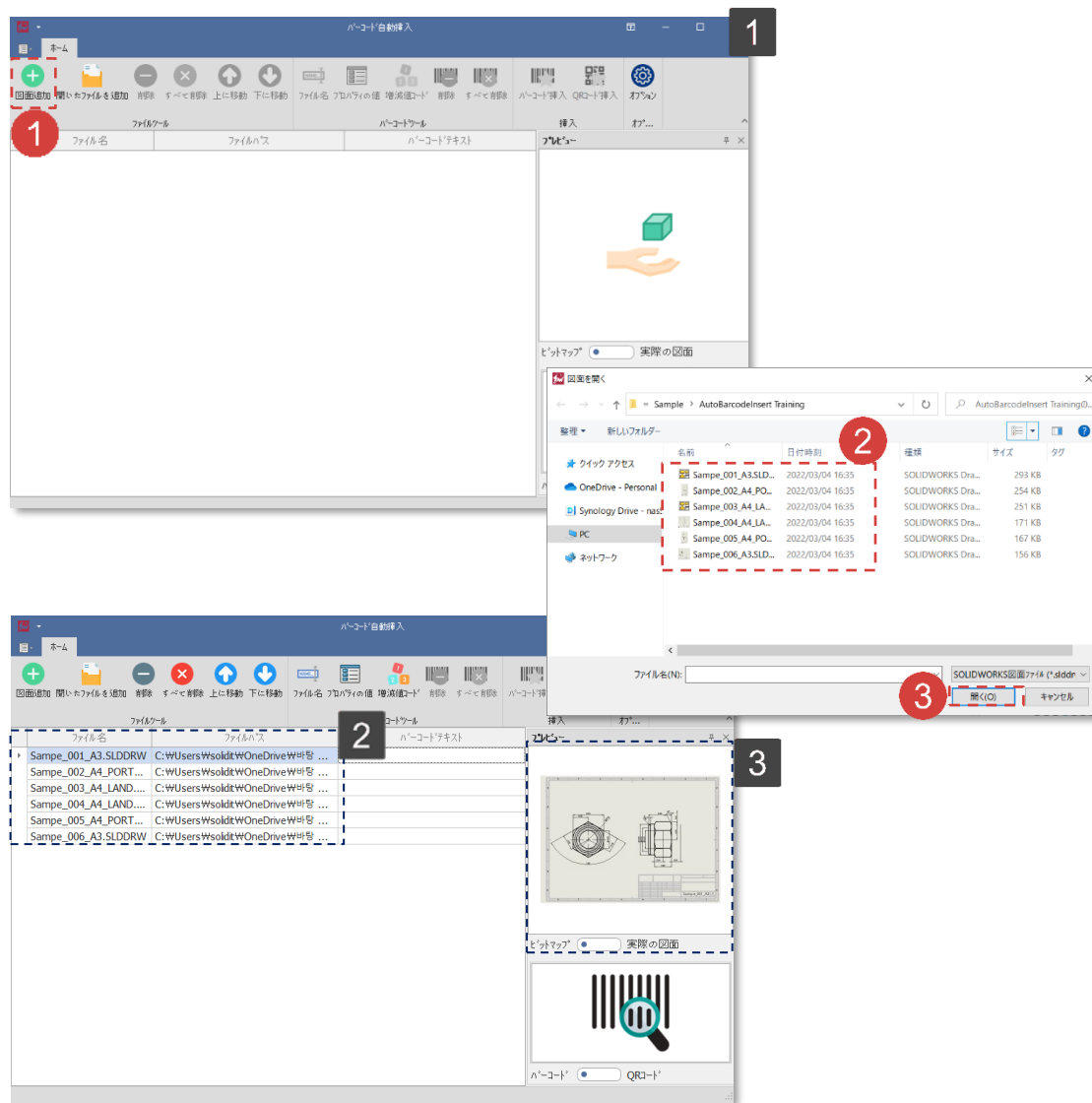
※ 例題のファイルはSpeedWorks HPのサポート (<https://speedworks.info>) ページからダウンロードできます。

バーコード自動挿入 - 対象図面の追加

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 [図面追加] ボタンをクリックします。
- 2 例題のファイル中、**Sampe_001_A3.SLDDRW**,
Sampe_002_A4_PORT.SLDDRW,
Sampe_003_A4_LAND.SLDDRW,
Sampe_004_A4_LAND.SLDDRW,
Sampe_005_A4_PORT.SLDDRW,
Sampe_006_A3.SLDDRW ファイルをマルチ選択します。
- 3 [開く] をクリックしてファイルを追加します。

- 1 該当の画面はバーコード自動挿入の画面です。
- 2 図面追加完了済みのリストです。
- 3 図面リストから項目を選択すると、3Dプレビューを確認することができます。

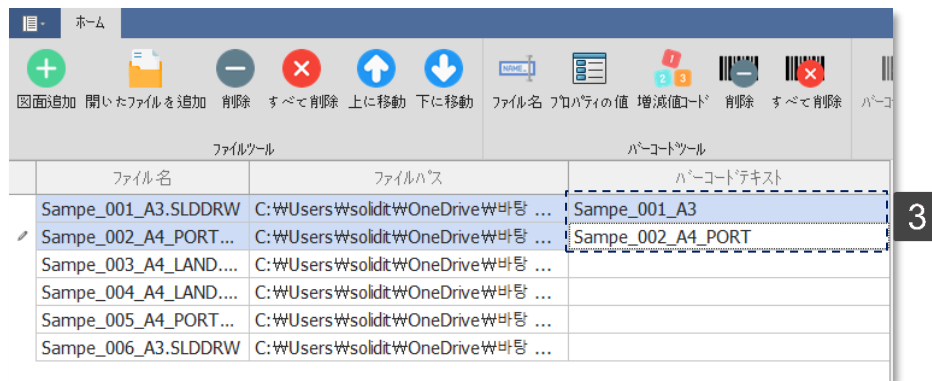
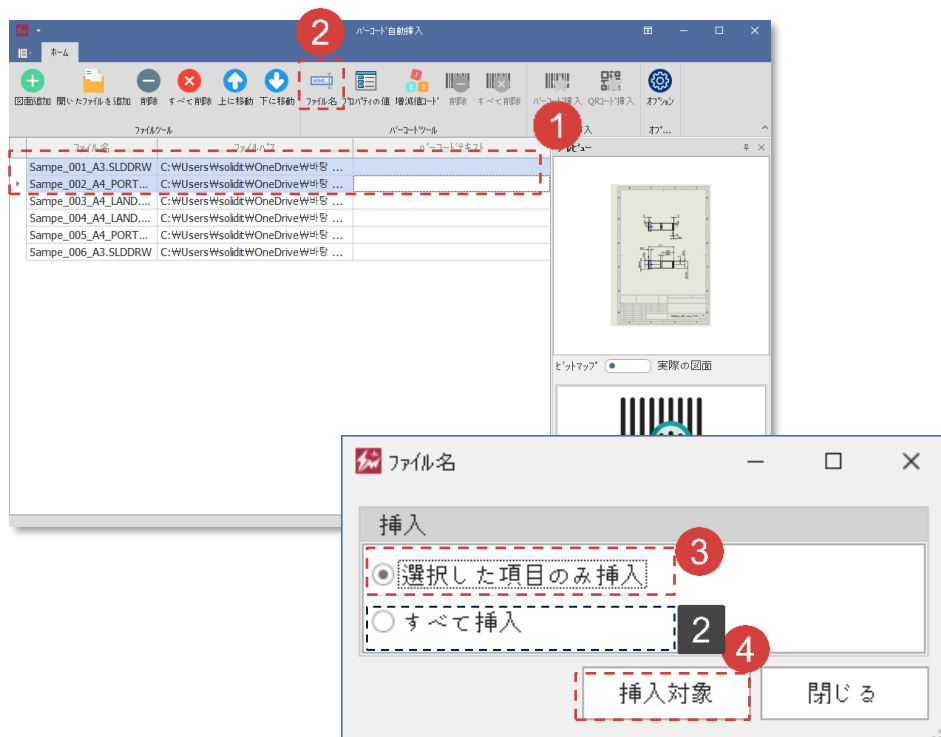


バーコード自動挿入 - ファイル名の入力

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- ① 図面リストの項目中、Sampe_001_A3.SLDDRW, Sampe_002_A4_PORT.SLDDRW ファイルをマルチ選択します。
- ② [ファイル名]をクリックします。
- ③ [挿入対象] - [選択した項目のみ挿入]を選択します。
- ④ [挿入]をクリックします。

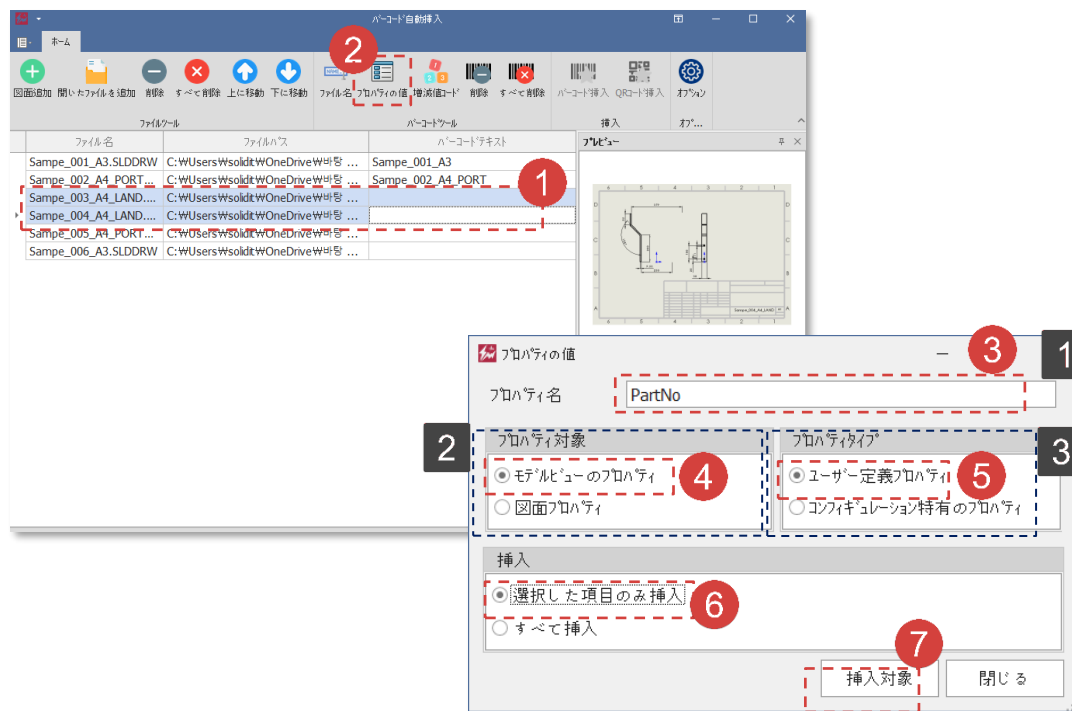
- ① 該当の画面は、ファイル名の画面です。
- ② [挿入対象] - [すべて挿入]を選択して挿入する場合、すべてのバーコードテキストにファイル名が入力されます。
- ③ 選択した項目のみファイル名の値がバーコードテキストに自動挿入されました。



バーコード自動挿入 - プロパティの値入力

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 図面リストの項目中、Sampe_003_A4_LAND.SLDDRW, Sampe_004_A4_LAND.SLDDRW をマルチ選択します。
- 2 [プロパティの値]を選択します。
- 3 [プロパティ名]に'PartNo'を入力します。
- 4 [プロパティ対象] - [モデルビューのプロパティ]を選択します。
- 5 [プロパティタイプ] - [ユーザー定義プロパティ]を選択します。
- 6 [挿入対象] - [選択した項目のみ挿入]を選択します。
- 7 [挿入]をクリックします。



- 1 該当の画面は、プロパティの値の画面です。
- 2 [プロパティ対象]ではプロパティを読み込む対象を選択します。[モデルビューのプロパティ]を選択する場合、ビューが参照しているモデルのプロパティを読み込みます。[図面プロパティ]を選択する場合は図面のファイルプロパティを読み込みます。
- 3 [プロパティタイプ]でコンフィギュレーション特有のプロパティは現在活性化しているコンフィグのプロパティをインポートします。
- 4 選択した項目のみプロパティの値がバーコードテキストに自動挿入されました。

ファイルツール			バーコードツール		
図面追加	開いたファイルを追加	削除	すべて削除	上に移動	下に移動
ファイル名	ファイルパス	バーコードテキスト	削除	すべて削除	バーコード
Sampe_001_A3.SLDDRW	C:\Users\WsolidIT\OneDrive\W바탕 ...	Sampe_001_A3			
Sampe_002_A4_PORT...	C:\Users\WsolidIT\OneDrive\W바탕 ...	Sampe_002_A4_PORT			
Sampe_003_A4_LAND....	C:\Users\WsolidIT\OneDrive\W바탕 ...	0315 02005-11			
Sampe_004_A4_LAND....	C:\Users\WsolidIT\OneDrive\W바탕 ...	0301 05070-02			

バーコード自動挿入 - 増減値コードの入力

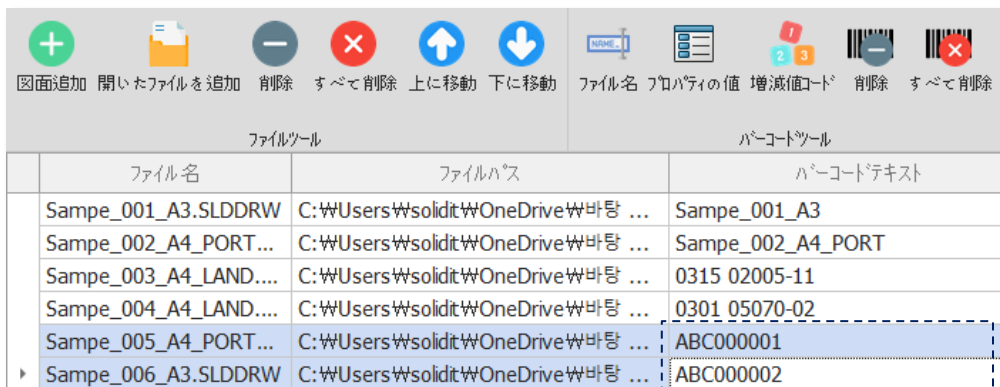
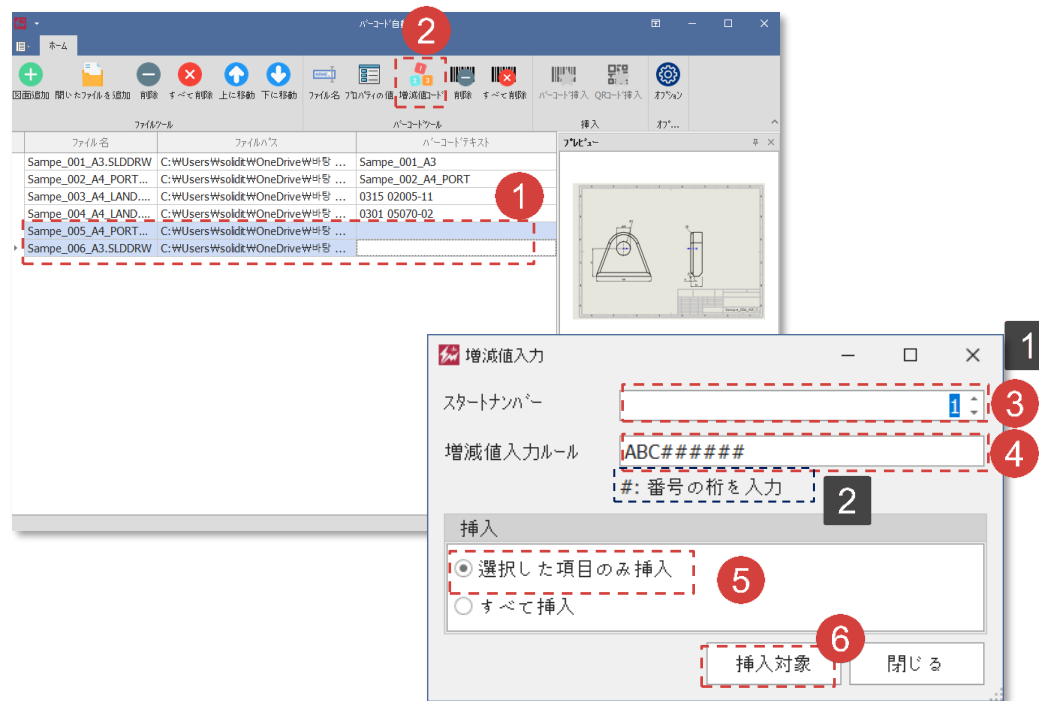
赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 図面リストの項目中、Sampe_005_A4_PORT.SLDDRW, Sampe_006_A3.SLDDRW ファイルをマルチ選択します。
- 2 [増減値コード]をクリックします。
- 3 [スタートナンバー]に '1' を入力します。
- 4 [増減値入力ルール]に 'ABC#####' を入力します。
- 5 [挿入対象] - [選択した項目のみ挿入]を選択します。
- 6 [挿入]をクリックします。

1 該当の画面は増減値コードの入力の画面です。

2 [増減値入力ルール]で '#' は番号が入力される桁です。[スタートナンバー]の桁が '#' の数より小さい場合、前が '0' で埋まれます。

3 選択した項目のみ増減値コードがバーコードテキストに自動挿入されました。



バーコード自動挿入 - オプション設定

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 [オプション]をクリックします。
- 2 [バーコード]を選択します。
- 3 下のようにバーコードパラメータを入力します。

A3 - X: 370, Y: 70, 幅: 30, 高さ: 10

A4(横) - X: 260, Y: 70, 幅: 20, 高さ: 10

A3(縦) - X: 175, Y: 70, 幅: 20, 高さ: 10

- 4 [バーコードテキストを挿入]を選択します。
- 5 [適用]をクリックします。

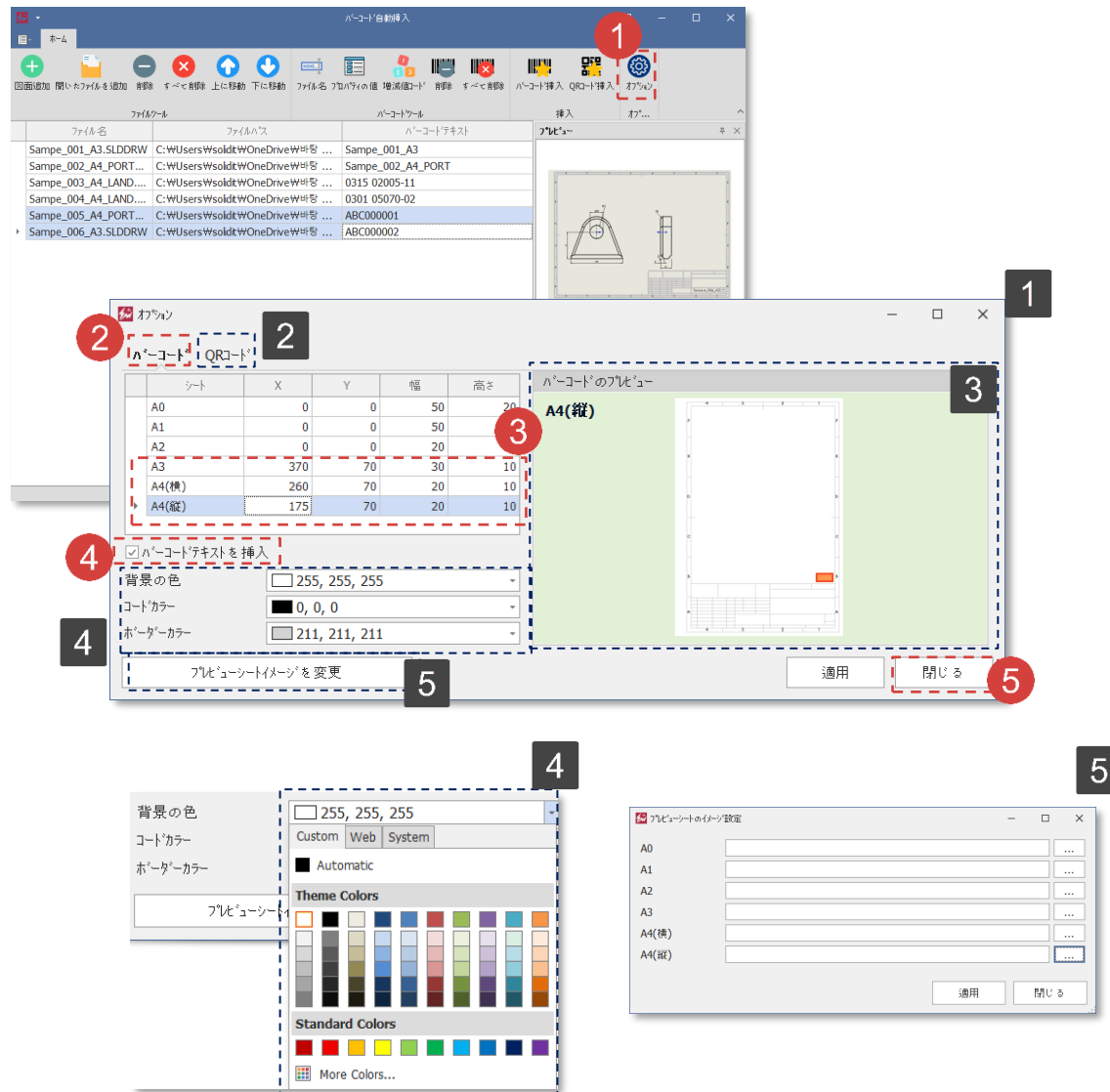
1 該当の画面はオプション設定の画面です。

2 QRコードのオプションを別途指定できます。

3 [バーコードのプレビュー]にてバーコードの配置位置を確認し、選択及びドラッグして位置を指定することができます。

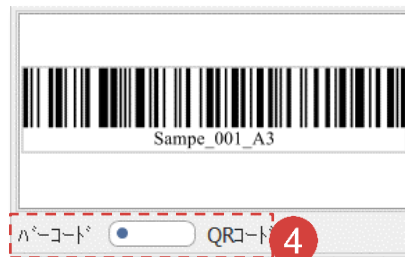
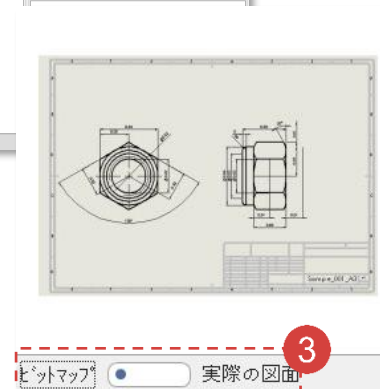
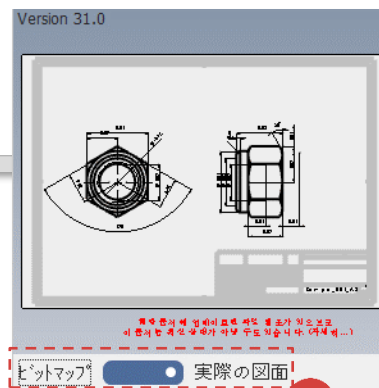
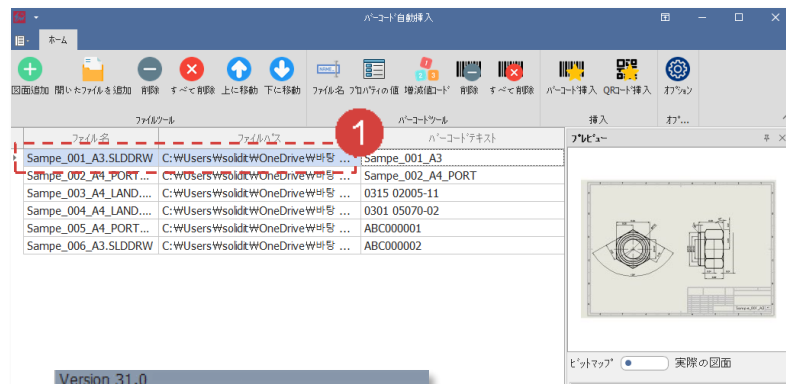
4 バーコードの色を変更することができます。

5 プレビューに表出されるシートイメージを変更することができます。



- 1 図面リストの第一目項目を選択します。
- 2 [実際の図面プレビュー]で選択します。
- 3 [ビットマッププレビュー]で選択します。
- 4 [バーコードプレビュー]で選択します。
- 5 [QRコードプレビュー]で選択します。

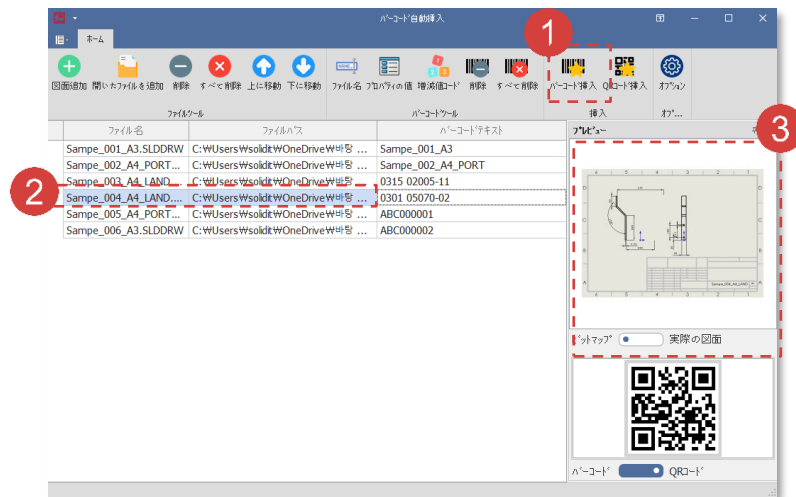
- 1 オプションで設定したバーコード/QRコード設定で表示されます。



バーコード自動挿入 - バーコード挿入

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- 1 [バーコード挿入]を選択します。
- 2 作業完了後、図面のリストを選択します。
- 3 [3Dプレビュー]から完了状態を確認します。



1 展開図の出力作業が行われる状態を確認することができます。

2 作業が完了したら、完了のメッセージが開きます。

3 バーコード挿入前の図面の結果

4 バーコード挿入後の図面の結果

